

5・10
市民大集会
での発言から

大阪市の権限、財源を使ってこそ 子育ても医療も充実します

大阪市を壊さず、 子育てしやすい 大阪市の

小学校1年生の娘がいます。橋下市長は、池田小学校事件で配置した学校警備員の補助をやめてしまい、道代の福祉減額も打ち切られ、プールの日数が減り、トイレットペーパーなどの消耗品を保護者が寄付をするという状況になりました。

必要なものがどんどん削られていくのを見てみると、輝かしい未来ばかりを語る「都」構想を信用することはできません。大阪市の壊さずに、住みやすい、子育てしやすい大阪市を、みなさんでつくっていきましょ。

安居 裕子さん(北区在住)

「都」構想は 繁栄の芽を奪う 不毛の構想

住之江区・西成区で、唯一の出産ができ、小児が入院できる住吉市民病院をなくす「都」構想は、将来の地域の繁栄の芽を奪う、不毛の構想です。いま小児科救急は不採算部門で、赤字覚悟で入ってくる民間病院はありません。

小児科医も不足しており、確実に確保することは民間病院ではできません。維新の会は「民でできる」とは民で「と言いますが、「民」でできないのは官で」という言葉を覚えてほしいものです。

大阪市の愛情のひとつかけらもない人に、大阪市の未来を託すことはできません。

住之江区医師会会長 松嶋三天さん



「大阪市も24区もなくすな! 特別区設置の住民投票で『反対』を」と、大阪市北区の扇町公園で10日に市民大集会が開催され5000人が参加し、パレードも行われました。大阪市商店会総連盟角理事長、大阪市地域振興会北尾会長、竹山堺市長、日本商工連盟大阪地区小池代表世話人、そして自民、民主系、公明、共産の各議員・元議員が参加しました。



「二重行政」問題の 特集 ウソを考える

福祉、医療の「二重」は あたりまえです

- 高校卒業までの医療費助成を
- 新婚世帯へ家賃補助の復活を
- 小児救急医療の充実を
- ブラックな働き方の根絶を

子どもたちの豊かな育ちは明日の大阪を開きます。健康に育ってほしい、生きる学力を身につけてほしい、安心して働き続けられる保育所を充実してほしい、家族そろって団らんできるような働き方にしてほしい……。この願いを実現するためには国、府、市の二重、三重の対策が必要です。橋下市長

のように病院まで二重行政と言って切り捨てるのは間違いです。しかも「都」構想では、庁舎建設などに莫大なコストがかかり財源がなくなるため、願いの実現は困難になり、逆に切り捨てられます。(2~3頁に続く)



「棄権は危険」、ぜひ投票に行き、「反対」とお書き下さい。ひらがな、カタカナでも有効。「×」は無効です。

よみがえれ
大阪
大阪市をよくする会の見解をお知らせします。

「大阪市をよくする会」機関紙 2015年 5月13日 第396号
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL (06) 6356-2047 FAX (06) 6357-5303
HP : <http://yokusurukai.com> Mail : yokusurukai@nifty.com
大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、日本共産党、陣連協、大生連、大借連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。



大阪市をよくする会 検索

「二重行政」4つのウソ

大阪維新の会と橋下徹市長は、「都」構想が必要だとする理由を「二重行政のムダ」の解消などとのべています。ここには4つのウソがあります。



「財政が浮く」どころか ばく大なコスト増に

大阪府と大阪市にはいま「二重行政」といわれるような問題は存在しません。橋下市長は「ムダをはぶけば2700億円」などと言いますが、その具体的根拠は示せません。逆に「特別区」をつくれば680億円のコスト増で財政面ではマイナスになってしまいます。

大型開発は 政策の失敗

維新の会は「二重行政の失敗例」として「りんくうゲートタワービル」(府)

と「旧WTCビル」(市)をあげています。しかし、これはバブル期の大型開発政策の失敗であって、「二重行政」の問題とはなんの関係もありません。橋下市長自身、住民説明会では「二重行政と事業の失敗は別」と明言しています。(4月16日、西淀川区)

「二重行政の解消」どころか、 「三重行政」で サービスが低下

大阪市を解体すれば、「三重行政」が誕生することになります。府と「特別区」のほかに「部事務組合」という

役所ができ、国民健康保険、介護保険、水道などは、ここが担当。保険料の金額も減免制度も特別区では決められません。

本当の目的は、 「二人の指揮官」で やりたい放題するため

橋下市長の「二重行政解消」の目的は、大阪市を解体して「二人の指揮官」が強力な権限を持つことです。夢洲への賭博場(カジノ)の誘致では、地元住民や特別区が反対しても、知事の権限ですすめると明言しています。府や市が失敗した大型開発を、形を変えてやろうというのです。

「ムダ」(橋下市長)どころか 多くの方に利用されています

充実こそ 政治の責任です



2011年度

住吉市民病院

外来(延べ) 18,386人
入院(実数) 2,235人
救急搬送 523人

2011年

府立急性期・総合医療センター

外来(延べ) 12,379人
入院(実数) 2,080人
救急搬送 453人

年間利用者(2013年度)

大阪市中央体育館
(アマチュアスポーツ大会など)

約62万人

年間利用者(2013年度)

府立体育会館
(大相撲・ボクシング興行など)

約83万1千人

年間入館者数(2013年度)

大阪市立中央図書館
(大阪市西区)

約161万人

年間入館者数(2013年度)

府立中央図書館
(東大阪市)

約56万人

学生数(2014年)

市立大学

約8千3百人

学生数(2014年)

府立大学

約8千人